

学校名	山梨県立保健体育スポーツ小 学校				校長名	山 梨 太 郎					
運動・スポーツが好き	1年	92.3	%	2年	94.2	%	3年	95.1	%		
	4年	92.4	%	5年	91.1	%	6年	93.3	%		
実践プログラム	学校みんなで元気アップ！！										
目標指標 目標数値	①「ほとんど毎日運動する」の割合を、男子80%、女子75%以上にする。 (県平均値を上回る) ②全ての学級において、授業等でボールを投げる運動（遊び）に毎月一定期間 取り組む。 ③朝食を「毎日食べる」割合を95%以上にする。										
実践後の数値 (検証方法)	①男子80%【達成】、女子78%【達成】（アンケート） ②全ての学級において、投げる運動（遊び）を毎月実施【達成】 ③男子93%【未達成】、女子96%【達成】（健康チェックカード集計）										
具体的な取組 実施内容											
①個人で楽しめる運動遊びを推奨し、運動機会の確保 ・「なわとびカード」を配付し、授業で一定期間取り組んだ後、休み時間に自分のペース 取り組むように指導した。 ・「みんなで元気アップ!!」の個人で楽しめる運動の他、友達と密着せずに競争できる運動 を拡大印刷し児童玄関に掲示した。「ねらってジャンプ」、「V字じゃんけん」等 ・児童が、多様な運動遊びを経験することができるように「元気アップ大作戦！」で遊ん だ種目にシールを貼ることができるカードを用意した。 ②投げる運動経験を増やすための取組 ○体育の授業の5分間を利用した投げる運動の実施 ・県教委の資料を参考に、タオルを使ったストレッチ運動や投げる動きの学習を継続して 行った。 ・ゴムボールとバンダナで一人1つの「てるボール」を作成し、自分のボールを使って投 げる運動を継続して行った。 ・1週間に1日、「てるボール」を使った遊びの日を設定した。 ③朝食摂取率を高めるための取組 ○健康習慣調べ ・学期に一度1週間、「食事」「睡眠」等の健康チェックを行った。 ・学年だよりで生活習慣の改善を呼びかけた。 ・保健委員会がクラスを回り、朝食を「毎日食べる人」が何人いるか調査・集計した。											
成果	感染症が落ち着いたため、屋外で児童が楽しく遊 ぶことができるよう、継続して行う計画を立てた。 遊びの内容や方法についても、楽しく取り組むこと ができ、運動の習慣化を図ることができた。 投げる運動を授業や遊びの中に意図的に取り入れ ることによって、全ての児童が投げる運動を継続的 に経験することができた。 家庭と連携した(お便りや呼びかけ)ことで、朝食 摂取率の向上にややつなげることができた。					4年		5年		6年	
						男	女	男	女	男	女
					週3日以上 運動する 児童数	34	25	35	26	35	26
		在籍 児童数	46	44	41	42	47	46			
今後の 課題	今年度の取組による投能力の改善については、令和6年度の新体力テストの結果に より評価する。 朝食摂取率を高めることができたものの、目標値を達成することができなかった。 「朝食をほとんど食べない」と回答した児童や保護者への働きかけを行うなど、健康 教育についても個に応じた指導を行っていく。										
(記載責任者名 山梨二郎 校務分掌等 体育主任)											